

震災25年若者キャンペーンプロジェクト 活動報告書

グループ概要	
名称	神戸×大槌 定点観測プロジェクト
代表者	神戸大学大学院工学研究科修士1回 宮前早希
設置目的	東日本大震災の被災地である岩手県大槌町での長期的なまちの変化と定点観測活動の様子を伝える展示会を震災25年の兵庫県内で行うことである。本グループに属する阪神・淡路大震災の被災地大学神戸大学の学生は、カウンターパートである岩手県立大槌高等学校・復興研究会に所属する高校生らと共に活動する。
事業概要	
名称	神戸×大槌の被災地学生による定点観測の展示・交流事業
事業内容	<p>①定点観測写真展の開催</p> <p>■名称 「岩手県大槌町定点観測写真展～東日本大震災から8年～」</p> <p>■期間 2019年11月6日(水)～24日(日) ※期間中11月11日(月)、11月18日(月)は休館</p> <p>■会場 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 西館1階ロビー(無料ゾーン) 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2</p> <p>■主催 神戸×大槌 定点観測プロジェクト</p> <p>■共催 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター</p> <p>《展示内容》</p> <p>◇定点観測全20回撮影写真(高校生選定3地点分)</p> <p>◇定点観測各地点まとめ(33地点分抜粋)</p> <p>◇ポストカード風地点紹介展示(高校生7名作成分)</p> <p>◇「大槌まつり」での定点観測写真</p> <p>◇大槌へのメッセージボード(来場者自由記入)</p>
	

事業内容

《来場者数》

約 300 名



②震災体験の伝承イベント開催

■ 名称 「3.11 を語り継ぐー大槌高校生と考える『これまで』と『これから』ー」

■ 日時 2020年1月13日(月・祝) 10時～12時

■ 会場 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

西館1階ガイダンスルーム1(無料ゾーン)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2

■ 主催 神戸×大槌 定点観測プロジェクト

■ 共催 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

《プログラム》

第1部 高校生が語る

- ・大槌高校生による発表(これまでの活動について、震災体験の紙芝居披露)
- ・神戸大学生による発表(大槌高校との活動について)

第2部 高校生と語る

- ・参加者と主催学生の交流(①写真展の内容の一部を展示)

<p>事業内容</p>	<p>《来場者数》 約 30 名、運営学生 12 名</p> 
<p>結果</p>	<p>①開催施設の来館者が偶発的に大槌町の写真展示を目にすることが多かったため、津波被害に遭った大槌町の様子を知らなかった方々にも、現在の町の様子や高校生・大学生のこれまでの活動についても伝えることができたと考える。アンケートには、各地で展示会を開催して被災地の今を伝えて欲しい、といった本事業に対する将来的な活動を求める意見も寄せられた。</p> <p>②本イベントには高校生、大学生から幅広い世代の方々が参加した。学生発表に対する質問では多くの質問が飛び交い、その後の交流会では学生自ら積極的に話しかける姿が見られ、参加者と主催学生たちによる多様な意見交換の場となったといえる。</p>